

大切な命を自分で守るために

三つの基本



ポイント ① 海上に浮くこと



ライフジャケットの着用

いつも着ておくのが大事

ポイント ② 連絡手段を持つこと



携帯電話の携行

防水パックも利用

ポイント ③ 救助の要請をすること



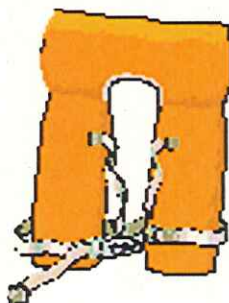
118番の活用

早く通報しましょう

①ライフジャケットの着用

岩場等は滑りやすく、また、比較的安全と思われる防波堤や岸壁においても不意につまづく等、海中転落事故は突然起こります。

持っているだけでは意味がありません。着用して初めて効果を発揮するのがライフジャケットです。自分のため、そして家族のため必ず着用するようにしましょう。



ウラにも大事な事が書いてあるので、よく見てね！



②連絡手段の確保

助けを呼ぶ必要がある時、連絡する手段がありますか？携帯電話は有効な連絡手段ですが、濡れて使えなくなってしまうのと同じです。

防水仕様の物や防水パックに入れる等したうえで常時携行し、何時でも使えるようにしておきましょう。



③118番の活用

迅速な救助活動を行うには、早期通報が大切です。

「118」の3つの番号で最寄りの管区海上保安本部につながりますので、事故発生時には迷わず118番へ通報して下さい。

☆そのライフジャケット、大丈夫??

ライフジャケットは命を守る重要なアイテムですが、不適切な管理や誤った方法・不十分な装着では十分効果が発揮出来ません。

バックルやベルトを適切に装着しないと身体に十分な浮力が伝わりません。



ベルトを適切に締めないとライフジャケットのみが浮き上がります



ベルト類をきちんと装着しましょう



使用したままポンペを交換していなかったり、取り付け部が緩んだりしていませんか？



ポンペの緩み・スプールは大丈夫？



使用済みのポンペではないですか？
(使用後の物は穴が空いています)

夜間においては、反射材の付いた物が特に目立ちます。また、明るい色の物を選びましょう。



☆現在位置はどこですか？

海上では発見までに時間のかかることがあります。通報時には出来る限り落ち着いて、島の名前や地名、岬の名前等、場所を特定出来る情報を伝えてください。また、早期救助のため、お持ちのスマートフォン等でGPS対応機種については118番通報した際にGPS情報が通知されるよう、機能が「ON」になっていることを確認しておいて下さい。

☆単独行動は避け、複数で行動しましょう！

一人だけで事故にあった時、通報することも出来なければ誰も助けに来てくれません。可能な限り複数で行動すること、家族や知人に行き場所や帰宅時間を伝えておくことも大切です。